

『地域農業の明日を考えるシンポジウム2019』参加者アンケート結果(意見抜粋)

<p>基調講演「人・農地プラン」を活かした地域農業の展開について</p>	<p>事例報告「角田市西根地区における農地の集積・農地集約化の取り組み」について</p>	<p>事例報告「(中山間地域での機構関連農地整備事業(七ヶ宿西部地区)」について</p>	<p>パネル討議「人・農地プラン」と農地中間管理事業の活用方策」について</p>
<p>シンポジウム導入の講演としてわかりやすかった</p>	<p>地域農業の存続に向けた取り組みや苦労話が聞けて参考になった。担い手を今後どう育成・定着させるか、とても難しい課題が横たわっている現状が理解できた。</p>	<p>七ヶ宿全体を網羅する大きな組織化へと変わることを期待したい。ソバ以外の作物にも取り組んで農業の発展に繋げてほしい。</p>	<p>短時間によくまとまった討議だった。いくつか、参考となるキーワードがあった。</p>
<p>課題解決に向けた具体的な案を今後知りたい。</p>	<p>検討会等の開催の苦労がよくわかりました。ここまででも課題はすぐさまってくるので大変だと思った。</p>	<p>農業へ取り組む気持ちが良くなりました。</p>	<p>事例発表、パネル討議とも大変参考になりました。県にいながら知らない事例があり、もっとこういった機会があればと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>地域の同意を得ることの難しさ、異世代の理解、異性の理解、どの時点で得たとするのか？結果として話し合いに出た人だけの同意でいいの？</p>	<p>角田の取組に感銘した。参加して良かった。</p>	<p>いかに中山間で農業を維持していくか、大切な取り組みをしていることに感動した。</p>	<p>ほ場整備の換地を検討していると、集落内での現況の把握や自分がリタイアした後のことを見てない農家が多い。土地持ち非農家も含めて地域農業と集落の今後についてよく話し合いを持つ必要があると思う。人・農地プランの実質化にあたり、関係機関、非農家も含めて、よく検討会等していく必要があると思います。話し合いの段取りなど、どこが中心となって進めていくか明確にして確実に作成してもらいたい。</p>
<p>もう少し具体的な事例や手法(アンケートするならこの内容を！とか)を聞きたいです。</p>	<p>大変すばらしいリーダーシップだと感じました。具体的なお話を聞きたいので、ぜひ土地連さんの「農地集積アドバイザー」に登録していただきたいです！お願いします。</p>	<p>大志を持って農業に取り組んでこられた事に感動した。</p>	<p>表の感想(※印同一人物)で書いた事をクリアして、実行された方々は素晴らしいと思った。とてもそこまで勇氣はないです。でもどうにかしないとイケないのですが。</p>
<p>今後の農業のあり方、方向性を話してもらい大いに参考になった。</p>	<p>水稻の生産調整をどの様に処理して行くかが問題とと思っている。集積した中での転作対応を考えないとイケないかなと思う。</p>	<p>公的資金は魅力であるが、しぼりが発生するので、よほどの覚悟が必要と思う。後継者の問題が対策出来ないと厳しいかなと。(※)</p>	
<p>情報量が多く消化しきれなかったです。もう少しポイントを絞っていただけると良いと思いました。</p>	<p>集積・集約にはかなりの時間と労力、そして進める方の意欲が必要と感じた。反対者はいなかったのでしょうか。</p>	<p>地域の実績を生かしたすばらしい取り組み事例であった。</p>	
<p>地域の意思統一がかなり困難である。今は生活が多様化しているし、反面地域力がなくなっているの土地より人をまとめるのが大変である。(※)</p>	<p>水稻の生産調整をどの様に処理して行くかが問題とと思っている。集積した中での転作対応を考えないとイケないかなと思う。(※)</p>	<p>どちらかと言うと、當農に向かないと思われる中山間地で、ソバの栽培に終わらず、加工販売する事で、将来に向けた當農に目を向けた事が大変参考になりました。</p>	
<p>「家族経営の本質を内蔵した法人経営に優位性があるのではないか?!」[閑話休題](これからの宮城県の経営像とその特徴)の一行が希望です。←レジュメ最終ページ</p>	<p>この結果に至るまでは私どもの想像も及ばないご苦労があったことと思います。「分散錯圖状態の改善」をしっかり目標としたことがこの結果をもたらしたと思います。問題点と目標をしっかり定めることが出発と感じます。</p>	<p>山田さんの人生に万感の思いで拍手します。自らの思いと目的、目標があれば道は拓けるものと教わりました。おいしいお蕎麦をごちそうになりに行きたいです。</p>	